

川のきらめき／撮影：会澤重行

かわはく No.62

CONTENTS

夏期企画展案内「ネイチャーアート-形・色・みかた-」	2
開催案内：スロープ展「荒川上流部の河川改修から、今年で100年」展	4
開催報告：5月企画展「東京藝術大学学生による『荒川・隅田川水系』作品展」	4
開催報告：荒川大模型173リニューアル特別イベント	5
イベント開催報告&予告 かわはくで緑に親しもう	6
学芸員コラム コンニャク水車は回る	7
お知らせ 大水車の改修始まる	7
イベント情報コーナー 8・9・10・11月	8



夏期企画展案内

「ネイチャーアートー形・色・みかたー」

2018年7月14日(土)～9月2日(日)

流れる川や滝、氷がつくる形、空に見られる形や色、また生き物たちの色や形、模様などは私たちの目に美しく映り、驚きや感嘆をもたらします。そんな自然の美しさを取り上げた展示「ネイチャーアートー形・色・みかたー」を開催します。

身近なところで見られる自然の美に加え、拡大して見たり、うすく切って見たり、近縁の種で比べて見たりなど、みかたを変えると発見できる美しさもあります。そうした自然が生み出す美を写真や標本で紹介します。

〈展示構成と見どころ〉

○水がつくる形

川を流れる水がつくる形や模様、氷となってできる形など、水は様々に形を変えます。私たちのまわりで見られる水の形を写真で紹介します。



自然のアート／撮影：稲村 弭

○空もよう

空に浮かぶ雲も、水が形を変えたものです。季節によって変わるその姿形は、時には私たちの目をなごませ、時には畏怖の念をいだかせるかも知れません。主に夏の空を写真で紹介します。また、移ろいゆく雲の形を映像で紹介します。

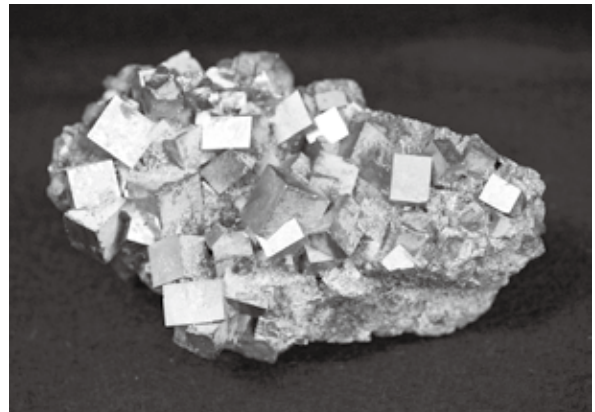


レンズ雲／撮影：柿境 孝夫

○地面の下で

地面の下には岩や土があります。地面の下にもキラキラとした輝きや、美しい色、自然のおりなす形があります。荒川流域の秩父鉱山で見られる

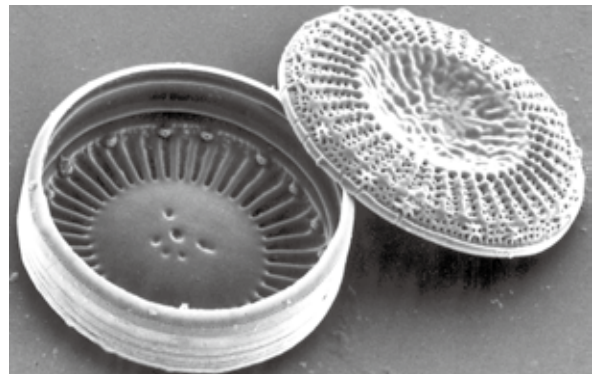
石を中心に、キラキラとした石、荒川で見られる美しい川砂、顕微鏡を使うと見られる輝き、土が見せる模様など、地面の下の美を、主に実物標本で紹介します。



結晶が大きくキラキラとした黄鉄鉱

○ケイソウの世界

ケイソウは1mmにも満たない、水の中の小さな生きものですが、細胞のまわりにガラス(珪酸質)の殻をもち、その殻には精巧な紋様があります。ケイソウの姿を写真で紹介します。



タイコケイソウの仲間／写真提供：南雲 保

○川や海の生きものたち

生きものの姿形や色は実に様々です。この展示では川や海の生きものを、特に「近い種」で比べながら見ることで、生きものたちの形や色が多様であることを実感していただきたいと思います。



カワセミ（左）とヤマセミ／撮影：木島 宏

具体的には、水辺の鳥・カワセミとその仲間の鳥、川の魚・イワナの仲間、エビやカニを、実物標本や写真で紹介しします。また、目からウロコ、魚の鱗に着目し、大きさや形の異なる鱗を紹介しします。

私たちは自然の美しさに癒され、驚き、時には模倣することもあるでしょう。また人が作ったものの中にも、似たような美しさがあるかもしれません。この展示が自然のつくる美の再発見のきっかけとなれば幸いです。（研究交流部 森圭子）

関連イベント

電子顕微鏡で見る生きものの美

日時：7月23日（月）～30日（月）

10：00～11：30、13：30～16：00

初日は午前の回はありません。最終日は15:30までです。

場所：荒川情報局

内容：肉眼では小さくてよく見えない生きものを電子顕微鏡で拡大して見てみます。普段は見えない、生きものの形や模様を見ます。時間内であればいつでもご参加いただけます。

対象：どなたでも

定員：随時10名程度

費用：無料

石ころアート

日時：8月25日（土）13:30～15:00

場所：講座室

内容：かわせみ河原の石を使い、素敵なオリジナルアート作品をつくりまます。

講師：狼林氏

対象：小学生以上

定員：15名

費用：300円（材料費）



作品イメージ

木版にヤマメを描く～木目を水の流れに見たてて～

日時：8月5日（日）

10：00～12：00 13：30～15：30

場所：講座室

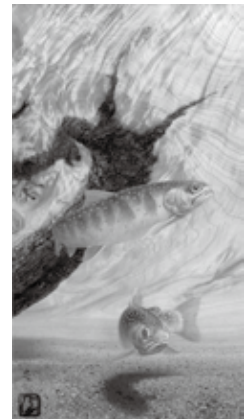
内容：杉板の木目を水の流れに見たて、そこにアクリル絵の具でヤマメの絵を描きます。オイル仕上げは講師の先生にお願いし、作品は後日ご自宅へお送りします。

講師：佐藤忠雄氏

対象：小学生以上

定員：各回5名

費用：1000円（材料費・作品仕上げ後の送料を含む）



イワナ／佐藤忠雄

「木版にヤマメを描く」「石ころアート」は事前申し込みが必要です。詳しくは最終ページをご覧ください。

かわはく夏期開館時間のお知らせ

展示期間中は、夏期延長開館となる期間があります。

7月14日(土)～20日(金) 9:00～17:00

7月21日(土)～8月31日(金) 9:00～17:30

ただし土日と8月11日(土・祝)～15日(水)
9:00～18:00

9月1日(土)～2日(日) 9:00～17:00

期間中、閉館日はありません。



開催案内

スロープ展「荒川上流部の河川改修から、今年で100年」展

会期：平成30年6月22日(金)～10月14日(日) 会場：第1展示室 スロープ展示

6月22日(金)より、スロープ展「荒川上流部の河川改修から、今年で100年」展を開催しています。

今年、平成30年(2018)は、1,000年に1度の大洪水、「明治43年の大洪水」発生後に立案された、荒川上流部改修工事が着工してから、ちょうど100年目の節目の年にあたります。

当館では、この節目の年に国土交通省 荒川上流河川事務所の協力の下、本スロープ展を企画いたしました。

荒川上流部改修工事は大正17年(1918)～昭和29年(1954)まで、36年の歳月をかけて行われた大工事です。この大工事を経て、皆さんがよく知っている、現在の荒川の姿が誕生したといっても過言ではありません。

本展示は、9月22日(土)から始まる国土交通省 荒川上流河川事務所との共催展示「荒川上流部改修100周年記念展示」との連動展示にもなっており、共催展示のダイジェスト版の展示にもなっています。本展示では特に荒川上流部改修工事が開始されてからの100年で荒川がどう変わったのか、また今の荒川はどうなっているのかを紹介しています。

また本展示では、展示を案内してくれる4人のキャラクターをイラストレーターの山田だりさんをお願いして制作していただきました。本展示はこの4人のキャラクターがリードして、展示内容を紹介してくれる形式をとっています。

9月22日(土)から始まる共催展示、そして本スロープ展示をご覧いただき、「埼玉の母なる川」である荒川が、また同時に「荒ぶる川」である荒川がどのようにして誕生したのか、改めて知っていただければ幸いです。



今回の展示を紹介してくれる皆さん(左から、柴犬のタロウ、入間川ゆみさん、荒川まもるくん、あきら先生)

イラスト：山田だり

(研究交流部 羽田武朗)

開催報告：5月企画展

「東京藝術大学学生による『荒川・隅田川水系』作品展」

会期：平成30年5月26日(土)～6月17日(日) 会場：第2展示室 ほか

5月26日(土)から6月17日(日)まで、昨年度に引き続き、東京藝術大学デザイン科の学生の皆さんが、荒川・隅田川をテーマに制作した作品の作品展を、当館第2展示室を中心に開催しました。

この作品展では、藝大デザイン科の1年生(現・2年生)の皆さんが、荒川・隅田川について、「歩いて」、「綿密に」調べ、感じたことを基に制作した作品の中から、28点を選抜して展示させていただきました。冠水橋をモチーフとした木琴をはじめ、今年もオリジナリティーあふれる作品で展示室内は埋め尽くされました。

当館は学生の皆さんの「調べ学習」のお手伝いもさせていただいており、その縁もあって作品の展示をさせていただいております。

また本展示は、学生の皆さんにとっての「学びの場」ともなるように、展示開催にあたって制作するポスターやチラシ等の広報媒体のデザインや、キャプション等のデザインも、学生の皆さんに担当してもらっています。今年は、五十嵐拓也さんと山田知沙さんがデザインの担当をしてくれました。

また作品の設営(飾り付け)や撤収(片付け)も、

学生の皆さんが自分自身の手で行っています。当館のスタッフはこれら展示準備のお手伝いならびに学生の皆さんが本展示から多くの事を学んで、これからの創作活動につなげてもらうように、そのサポートの方を担当しています。

当館は、博物館として、体験学習、つまり体験しながら学んでもらうという点に特に力を入れ活動しています。学生の皆さんにも、本展示を通じて今後の創作活動につながる何かを掴んでもらえたのではないかと思います。

(研究交流部 羽田武朗)



会場の様子



藝大の学生さんがデザインしてくれた本展示のチラシ(表面)



開催報告

荒川大模型173リニューアル特別イベント

かわはくだより前号でも報告させていただきましたが、当館自慢の屋外展示施設「荒川大模型173」が、今年の3月1日にリニューアルオープンしました。新しく生まれ変わった荒川大模型173、皆さんもうご覧いただけましたでしょうか？

荒川大模型173のリニューアルオープンにあわせて特別イベントも開催いたしました。今回はその報告をさせていただきます。

①ガリバーウォークもリニューアル

荒川大模型173を使用した展示解説、通称「ガリバーウォーク」も、リニューアルに合わせて解説内容を更新しました。

また展示解説であるガリバーウォークは、学芸スタッフ以外に、当館ボランティアスタッフも行っています。今回のリニューアルに合わせて、ボランティアスタッフの皆さんも、解説内容の見直し作業を行ってくれました。現在は見直し作業を経て解説内容を更新した、「新しい」ガリバーウォークを実施してくれています。

リニューアルイベントとしてのガリバーウォークは、GW期間で終了してしまいましたが、随時受付は行っておりますので、当館に来館の際にはぜひ、来館記念にガリバーウォークをお聞きください。お待ちしております

②リニューアルクイズ

荒川大模型173リニューアルを記念した、子ども向けのミニクイズを実施しました。

問題の内容としては、大模型のどこが変わったのか大模型の中から探し出すタイプのもので、荒川について知ってもらうタイプのもので、2種類用意しました。

参加していただいた皆さんには、ささやかながらプレゼントもお渡ししました。

③荒川大模型173 O×クイズ大会2018

開催日：5月4日(金・祝)・5日(土・祝)

荒川大模型リニューアル特別イベント最大のイベントが、GW期間中に開催した、このO×クイズ大会でした。

屋外ファミリー広場や本館3F展望台等、当館施設をフル活用したクイズ演出(写真参照)、3m×3mの巨大なO×シート等の制作(写真参

照)、そしてクイズの司会進行にはプロのMCの方(月嶺まことさん)をお呼びし、学芸スタッフ総出で、テレビのクイズ番組にも決して引けを取らない規模で実施しました。

出題形式はO×クイズ、問題の内容は荒川や荒川大模型173に関するもの、参加対象としては、4日が親子・大人向けの大会、5日は、子どもの日にちなんで、子供向けの大会として実施しました。

2日間とも大変多くの方にご参加いただき、正解が出るたびに一喜一憂しながら、イベントの開始からおしまいまで大盛況の中でクイズ大会は終了しました。今回は、「大会」ということで、最後まで勝ち残った方には、当館よりステキな景品(オリジナルサーモボトルや招待券)も進呈いたしました。

当館に勤務してからずっと温めてきたこの企画。大模型のリニューアルに合わせてやっと実現にこぎつけました。また機会があればぜひやりたいと思います。次のクイズ大会のテーマははてさて何になることやら・・・



O×クイズ大会の様子①(子ども向け大会の様子)



O×クイズ大会の様子②(展望台から正解を掲示している様子)
(研究交流部 羽田武朗)



かわはくで緑に親しもう

「お花見しよう」「お家に緑を持って帰ろう」を開催しました。

見るだけでなく、食べたり触れたり育てたりと、緑（植物）に親んでもらうイベントを初めて開催しました。

かわはくには桜がたくさん植えてありますので、その桜の花を楽しんでもらおうと4月1日（日）に「お花見しよう」を行いました。桜がちょうどいい時期に咲くか心配でしたが、ファミリー広場にある3本のソメイヨシノは満開になってくれました。

イベント会場では、昨年シロップ漬けにしておいた寄居町の八重桜の花びら入りのジュースを配り、敷地内に咲いている桜の紹介や寄居茶道協会の皆さんによる野点が行われました。野点に初めて参加された方は、「ゆったりとした楽しい時間でした。ありがとう」と声をかけてくださり、抹茶を初めて飲んだお子さんも美味しそうでした。



野点の様子

6月23日（土）には「お家に緑を持って帰ろう」を行いました。ミニ盆栽や今話題のハーバリウム（植物標本）、小さなボトルに砂利や水草を入れたミニアクアリウムなど、緑にちなんだモノづくりの体験が行われました。

ミニ盆栽づくりにはご夫婦で参加して下さる方々が多くいらっしゃいました。園芸屋さんの指導を受けながら、皆さん真剣に盆栽づくりをしていました。

あまり知られていないのですが、埼玉県ではお茶の栽培が盛んです。入間市には埼玉県茶業研究所があり、美味しいお茶の開発に日々励んでいます。6月は新茶の季節です。埼玉県茶業研究所の方に

もイベントに参加していただき、「飲んで当てよう。お茶あてクイズ！」も開催しました。

3種類のお茶を味わった上で、その後に飲んだお茶が3種類のうちのどのお茶か当てるクイズです。使っているお茶はもちろんすべて埼玉県産です。大人たちはお茶を当てられずに苦労していましたが、子供たちは見事に一回で当てていました。クイズに参加し、実際に埼玉県のお茶を飲んだ方は、「とても美味しいお茶ですね」とお話しになっていました。



お茶当てクイズの様子

次回は11月23日（金・祝）に「紅葉（モミジ）を楽しもう（仮）」を開催する予定です。

朱く色づいたモミジの傍らで、昨年屋根を葺き替え、水輪も新しくなった精米水車と、その並びにあるコンニャク水車について解説を行います。モミジを使ったオリジナルのしおりづくりも行いますのでぜひご参加ください。



水車小屋とモミジ

（広報担当 若目田 葉子）



◆ 学芸員コラム ◆ コンニャク水車は回る

コンニャクの原料となるのがコンニャク芋です。その生産量がダントツに高いのが群馬県で、国内生産90%超のシェアを誇っています。なかでも有名なのが下仁田町。「下仁田コンニャク」は「下仁田ネギ」とともにブランドとして位置づけられ、全国に出荷されています。

先日、その下仁田町教育委員会の担当者が当館を訪ねて来られました。目的は当館にあるコンニャク水車の視察です。かつては下仁田町でもあちこちで水車による製粉が行われていたものの、今ではどこも廃業。当時の状況を知る手掛かりのための調査ということでした。

コンニャク芋の栽培に適しているのは山間地の畑です。種芋を植え付け、秋に掘り出して翌春再び畑に戻すことを2度繰り返し、3年目に収穫となります。これを輪切りにして自然乾燥させ（写真）水車で製粉したものがコンニャク粉です（現在は乾燥・製粉とも機械化されています）。

ただこのような製法は新しいものでした。かつては収穫したコンニャク芋を生のまますり下ろして作ったもので、時期が限られていました。今で



も自家用に生芋コンニャクを作っているお宅があります。以前、それをいただいたときの美味しさと食感が忘れられません。

ちなみに今のコンニャクは、生芋コンニャクに似た色をつけるために海藻を混ぜているとのこと。また、マンナンとはコンニャク芋に含まれている植物繊維のことです。知っていました？

「コトコトコットン、コトコトコットン・・・」今日もコンニャク水車は回り続けています。

（研究交流部 大久根 茂）

お知らせ

大水車の改修始まる

川の博物館のシンボルである大水車は、平成9年8月1日の開館に合わせ「日本一の大水車」として施工されました。水輪は、ヒノキ材を加工して組み上げられていますが、水受けなどが経年劣化により腐食してきたため、安全を優先して、一昨年より水車の回転を中止していました。

このほど大水車の改修予算が付いたため、まずは飯能市の山林で直径60cmのヒノキ約70本を伐採し、長さ12mの角材に加工しています。大水車完成まで、ヒノキ伐採 角材製材 腐食防止剤注入 乾燥（約6ヵ月） 各部品加工 仮組上げ 現場施工と長期の工程を経て完成に至ります。

現在は乾燥の段階で、平成31年11月完成に向けて作業を行っています。進捗状況は、当館ホームページでも随次報告いたします。

（経営管理部 高石 勉）



西川材のヒノキ伐採作業



ヒノキ材の加工作業

8月

7/14/土~9/2/日
企画展「ネイチャーアート-形・色・みかた-」

6/22/金~10/14/日
スロープ展「荒川上流部の河川改修から、今年で100年」(協力:国土交通省 荒川上流河川事務所)

1/水 かわはくであそぼう・まなぼう かわはく開館・水の日記念「利き水体験」
時間: ①10:00~12:00 ②13:00~15:00
内容: 利き水などをしながら、水の性質や大切さを学びます。

5/日 企画展開連イベント「木版にヤマメを描く~木目を水の流れに見たてて~」(講師:佐藤忠雄氏)
時間: ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
費用: 1,000円(材料費等) 定員: 各回5名 ☎
内容: 杉板の木目を水の流れに見たて、そこにヤマメの絵を描きます。

19/日 かわはく研究室~川・自然・歴史~「自由研究応援:石のでき方や種類」
時間: 13:30~15:30
内容: 石のでき方や種類についてリクエストに応じて解説します。

23/木 かわはく体験教室「伝統漁法体験」
時間: ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
費用: 500円(保険料等) 定員: 各回20名 ☎
内容: 漁協の方を講師に招いて、荒川で行われていた昔ながらの漁法(投網など)を体験します。

25/土 企画展開連イベント「石ころアート」(講師:狼林氏)
時間: 13:30~15:00
費用: 300円(材料費) 定員: 各回15名 ☎
内容: かわせみ河原の石を使い、素敵なオリジナルアート作品をつくります。

9月

9/22/土~10/14/日
共催展示「荒川上流部改修100周年記念展示」

8/土
かわはく体験教室「砂金採り教室」
時間: 10:00~12:00
費用: 100円(保険料) 定員: 20名 ☎
内容: かつては砂金が多く採れた荒川で、砂金の採取にチャレンジします。運が良ければ砂金が採れるかもしれません。

15/土 & 16/日 職人さんに学んで作る~自分だけの工芸品~
時間: 10:00~15:00
参加費: 体験内容によって異なります。
内容: ミニ量や水引のアクセサリなど工芸品を職人さんと一緒に作りましょう。

16/日 かわはく研究室~川・自然・歴史~「ミジンコを観察しよう」
時間: 13:30~15:30
内容: ミジンコなど田んぼの小さな生きものを観察し、解説します。

17/月・祝 スポーツしよう~ラグビー・東京2020大会を楽しもう~
時間: 11:00~14:00
内容: 親子で一緒にラグビーを体験したり、オリンピック参加国のプータンについて紹介します。

22/土 かわはくであそぼう・まなぼう「お月見クイズラリー」
時間: 13:30~15:30
内容: お月見にまつわるクイズラリーをします。

23/日 企画展開連イベント「アゲブネに乗ろう」
時間: ①10:00~12:00 ②13:30~15:30
内容: かつて荒川流域に使用されていた洪水避難・救援用の小型船「アゲブネ」に試乗していただきます。

10月

10/16/火~2019/2/3/日
スロープ展「カモを見に行こう!」

8/月・祝
連携イベント「文化の森まつり」
時間: 10:00~15:00
内容: 埼玉県比企郡周辺にある13の文化施設が集まってお祭りを開催します。

14/日 かわはく研究室~川・自然・歴史~「土の色を調べよう」
時間: 13:30~15:30
内容: 様々な土の色の見方など、土を見ながらお話しします。

20/土 かわはく体験教室「泥染めに挑戦」
時間: 13:30~15:30
費用: 300円(材料費) 定員: 15名 ☎
内容: 土壌を使って布を染めます。

20/土 & 21/日 & 27/土 & 28/日 かわはくであそぼう・まなぼう「かわはくでハロウィン」
時間: 10:00~16:00 ※材料がなくなり次第終了
内容: 仮装体験コーナーをはじめ、館内各所でハロウィンを楽しむイベントを開催します。

20/土 & 31/水 かわはくハロウィンウィーク
内容: 期間中の土日に仮装して来館いただいた方には、当館有料施設の招待券をプレゼントします。

11月

11/3/土・祝~2019/1/6/日
特別展「カモ・鴨 ~見・知・獲・食~」

11/3/土・祝~2019/1/6/日(期間中不定期開催)
特別展開連イベント「鴨を食べてみよう」
費用: 650円(お食事代、税込み)
提供場所: かわはく食堂
メニュー: 鍋焼き鴨肉うどん

3/土・祝 荒川ゼミナールⅠ川を知るウォーキング「荒川の河岸段丘探検」
時間: 10:00~16:00
費用: 300円(資料代・保険料) 定員: 20名 ☎
内容: かわはく周辺の河岸段丘を見学します。

4/日 かわはく子ども交流員
時間: 10:00~12:00
費用: 300円(参加費) 定員: 10名(4~12歳対象) ☎
内容: かわはく交流員のお仕事を体験することができます。

7/水 荒川ゼミナールⅡいろんな荒川を見に行こう「荒川放水路をたどる」
時間: 12:00~16:00
費用: 300円(資料代・保険料) 定員: 30名 ☎
内容: 荒川放水路を巡視船に乗ってくだります。

11/日 特別展開連イベント「放鷹観察会」
場所: ファミリー広場 時間: 11:00~12:00
内容: 鷹匠を招いて鷹狩の模擬実演を行います。

14/水 かわはくであそぼう・まなぼう「木の実あそび」
時間: ①10:00~12:00 ②13:00~15:00
内容: どんぐりコマやどんぐりヤジロベエづくりを体験します。


14/水 かわはく体験教室「アゲブネに乗ろう」
内容: 洪水避難・救援用の小型船「アゲブネ」に試乗していただきます。

14/水 県民の日イベント「かわはく秋まつり」
時間: 10:00~16:00
内容: 県民の日は年に一度の施設無料開放日です。各種イベントも行います。

18/日 かわはく研究室~川・自然・歴史~「土の中の生きものを調べよう」
時間: 13:30~15:30
内容: 土の中にいる土壤動物を見てみます。

23/金・祝 かわはくで緑に親しもう「紅葉を楽しもう」
時間: 11:00~14:00
内容: 紅葉を背景に水車小屋広場の解説を行います。また、紅葉の葉っぱを使ってオリジナルしおり作りも開催します。

富士見市で発見された青いニホンアマガエル
(協力:吉野 正氏)
昨年リバーホールに展示され、人気を博した青いニホンアマガエルは、少し大きくなって今年も展示されました。



ホームページでも紹介しています!

<http://www.river-museum.jp/>

【お願い】①行事は都合により変更になることもあります。ご了承下さい。②☎印のついた行事は事前申込みが必要です。費用に「保険料」が含まれるイベントの申込締切日は、各イベントの開催日の前日(午前中)までです。③定員になり次第締め切ります。④川の情報もお寄せ下さい。

編集・発行

埼玉県立川の博物館

〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町大字小園39番地
TEL/048-581-8739(研究交流部) FAX/048-581-7332
Eメール/web-master@river-museum.jp/

彩の国
埼玉県

2018年7月31日発行

